

# 兵庫県のみ漁場環境情報 (淡路周辺海域 10 号)

2023年 1月16日発行  
 兵庫のみ研究所

海域全般に、小型珪藻のキートセロス、レプトシリンダラスが確認されており、発生量は増加傾向にあります。また、大型珪藻のユーカンピアも確認されています。窒素は、東浦海域で概ね1~2  $\mu\text{g-at/L}$ 台、西浦・南浦海域で1  $\mu\text{g-at/L}$ 台の値となっています。

### (珪藻)

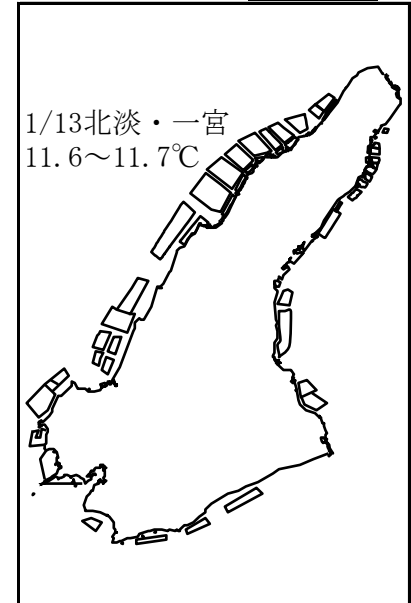
西浦海域では、小型珪藻のキートセロス、レプトシリンダラスが多く確認されており、発生量は前回(1/5)調査より増加傾向にある。東浦・南浦海域においても、同様の珪藻が確認されており、発生量は前回調査より大きく増加していた。各海域のユーカンピア発生量(海水1mlあたり)は、西浦海域で10~50細胞(前回値:0~5細胞)、東浦で20~50細胞(前回値:0~10細胞)、南浦海域で0~10細胞(前回値:0細胞)であった。

		前回値	今回値	平年値	昨年値
東浦地先	窒素	4.4	1.9	4.5	3.7
	リン	0.57	0.38	0.48	0.46
西浦地先	窒素	3.1	1.6	4.1	2.5
	リン	0.53	0.45	0.51	0.44
南浦地先	窒素	3.2	1.3	4.2	3.4
	リン	0.48	0.50	0.51	0.53

(1/5)

(1/17)

### 水温図



### 栄養塩 (窒素) 図

2023年 1月16日調査

